

講義名	卒業研究		
講義コード	44401	授業形態	
担当教員	山川 拓也	開講期・曜日・時限	通年 木曜日 4時限
		ゼミ・演習・科目コード	SEM440

学部・学科	演習分野
人間社会学部 / 商学部 / 経済学部	観光商品・旅行業ビジネス・地域創生のマーケティング

概要説明

研究演習 ・ で明確にした各自の意識を起点に、演習分野に関する専門的な知識や技能を駆使して計画的かつ着実に研究を遂行し、成果を卒業論文にまとめる。卒業論文の執筆を希望しない場合は、教員との合意に基づきプロジェクトへの高度なレベルでの取り組みなど、卒業制作をもって代替することも可能とするが、ただし質量ともに卒業論文の代替と認められるレベルの報告レポートの作成を求める。

【卒業論文を選択する場合】
各専門領域にふさわしい卒業論文にするための不断の努力が必要となる。年間を通して担当教員と綿密に意見交換を行い、着実に研究を推進していく必要がある。尚、週末や休暇中にも指導を実施することがあることへの理解を求める。

【卒業制作を選択する場合】
研究演習 ・ の経験をもとにした、より高度なレベルのプロジェクト活動を年間を通して推進することを求める。どの取り組みを行うかは、担当教員との合意による。尚、週末や休暇中にも活動を実施することがあるとともに、学外活動に係る諸費用（交通費等）については基本的に各自で負担することへの理解を求める。

主な卒業論文のタイトル

- 【2025年度】
 - ・大学生の中期滞在型地域体験を通じた関係人口創出 『コトヒラコネクト(コトコト)プロジェクト』における参与観察と分析
 - ・観光・旅行業における関係人口創出の可能性に関する研究 滞在型プロジェクトの実践を通して
- 【2021年度】
 - ・観光商品開発における価値創造に関する研究-メタ観光とスマートツーリズムの視点を用いて-
- 【2016年度-2018年度】(前任校での論文指導の例)
 - ・観光でのスペース・シェアリングと異文化交流の関係についての研究
 - ・訪日外国人旅行者の旅行態度とその認識に関する研究
 - ・広島県のインバウンド観光活性化に関する研究
 - ・空港業務におけるサービスの機械化に関する研究：羽田空港と“変なホテル”を事例に
 - ・出雲大社観光の光と影：地域におけるホストとゲストの関係性に着目して
 - ・中山間地域における地域振興施策の課題：「ひろしまさとやま未来博2017」から考える効果的な地域振興施策とは
 - ・東京ディズニーリゾートの顧客満足(CS)に関する研究：企業と顧客における価値共創の視点から
 - ・ファンツーリズムに関する研究：広島における新しい観光の創造
 - ・オタクの「コト消費」マーケティングに関する研究
 - ・伝統的郷土芸能である「神楽」の伝承に関する研究：後継者不足問題と団員の心理との関係性

教員からの要望

学生として大学で何を学んできたのか、自信をもって人に言える卒業論文・卒業制作になることを期待する。

選考方法

本科目は研究演習からの連続科目となるので、卒業研究の履修においての選考は実施しない。

評価方法
演習運営方針の理解・実行、取り組み姿勢(積極度、協力度、貢献度、参加態度)、スケジュール・マネジメント(出席、遅刻、早退、期限等)、研究課題の内容(各種ワーク、成果物、発表・プレゼン等)をもとにして、学期末に総合的な評価を判定します。

教員英字氏名	研究室
Takuya YAMAKAWA	研究棟 5418

最終学歴
大阪府立大学大学院経済学研究科 経済学専攻 観光・地域創造分野 博士後期課程修了

学位
博士(経済学)(大阪府立大学)

主な研究活動・社会活動・研究業績

【研究テーマ】「観光の現代的消費構造と市場形成」、「観光における意味的価値の消費」、「観光経験としての『生活文化体験』の商品化」、「ローカル体験としての旅行・観光」をベースとする観光商品開発や地域マーケティングの戦略、コミュニティ・ベースド・ツーリズム(CbT)に関心を寄せる。

【学位論文】
山川拓也(2018)「団体ヨーロッパツアー造成に関する研究 異文化間インテグレーターとしての添乗員機能の分析」大阪府立大学,博士(経済学),甲第1843号

- 【主な査読付き論文】
- 山川拓也(2015)「海外旅行における文化的価値を基盤とする旅行業の再定義化 旅行会社の商品マーケティング戦略における文化論的視点」『日本国際観光学会論文集』22,pp.97-102
- 崔載弦・山川拓也(2016)「新しい観光のコンセプト:韓国における公正旅行と訪日観光」『日本国際観光学会論文集』23,pp.91-99
- 山川拓也・中尾公一(2021)「地域住民と外国人宿泊客を結びつけるゲストハウス 媒介・仲介機能とCOVID-19の影響の分析」『観光研究』32(2),pp.81-93
- 山川拓也(2023)「『イミ消費』を意図した観光ツアー商品の企画開発に関する分析と考察 広島市内におけるsokoiko!の事業者インタビューと参加者事後レビューから見えるもの」『観光マネジメント・レビュー』(3),pp.62-78
- 山川拓也・中尾公一(2025)「地域密着型教育旅行の価値共創 S-Oロジック分析による使用価値と文脈価値の析出の試み」『観光マネジメント・レビュー』(5),pp.3-19

趣味・特技

上質な美味しい食事と酒を楽しむこと、サウナ、海外旅行、弓道

所属

人間社会学部 観光学科

所属学会

日本観光研究学会、日本観光経営学会、日本商業学会、日本マーケティング学会、地域デザイン学会、日本感性工学会

専門分野

観光経済学、観光マクロマーケティング、観光消費文化論、コミュニティツーリズム

担当科目

観光文化論、観光地理学、観光施設計画論、旅行事業経営論、観光社会学、専門基礎演習(人)、研究演習 ・、卒業研究

備考

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
旅行業および旅行サービス手配業での実務経験(欧州を中心とする海外団体旅行の企画作成、営業、添乗、海外駐在、市場戦略などのマーケティング)を活かし、旅行・観光の商品化に関する思考を深化させ、実践的な指導をおこなう。